

INTIMATE LANDSCAPE

Michael KENNA / Toshio SHIBATA / Meo SAITO / Naoko TOMIOKA

March 9 - April 7, 2018 Gallery Art Unlimited OPEN : 13-19pm CLOSED : Sun, Tue, Holiday

INTIMATE LANDSCAPE

マイケル・ケンナ / 柴田敏雄 / 齋藤芽生 / 富岡直子

3月9日(金) - 4月7日(土) 休廊; 日、火、祝 休廊 3月20(火) 21(水・祝) は連休

営業時間: 13時~19時

ギャラリー・アートアンリミテッド

107-0062 港区南青山 1-26-4 六本木ダイヤビル 3F 03-6805-5280

<http://www.artunlimited.co.jp/>

誰にとっても親密な風景がある。誰もが、心に沁みる風景を求めて旅をし、カメラを構え、絵を描いているのかもしれない。自然に人間の痕跡を求め 8x10 の小さな写真に凝縮するマイケル・ケンナ、ダムなどの構造物を人間の造形物として、絵画的な視覚で大胆に切り取る柴田敏雄。寄想と現実をないまぜに卓越した筆致で絵画に昇華させる齋藤芽生、観察から幻想的光景を繊細な筆致で描く富岡直子ら、アートアンリミテッド扱い作家4人の写真と絵画によるグループ展。

Michael KENNA / マイケル・ケンナ



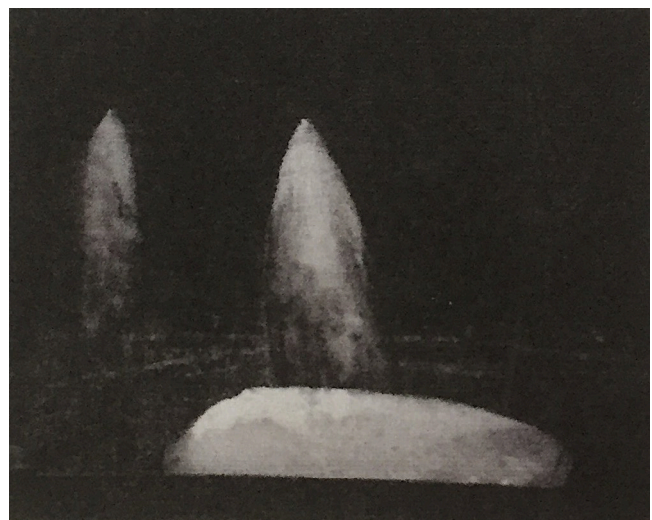
“White Pier, Onuma Lake, Hokkaido, Japan. 2004” Rocky Pier, Tsuda, Shikoku, Japan. 2001 (gelatin silver print 8x10”)

Toshio SHIBATA / 柴田敏雄



埼玉県秩父市 1996年 “Chichibu City, Saitama Pref.”

40x50” gelatin silver print



山梨県北都留郡小菅村 1996年

“Kosuge Village, Kitatsuru District, Yamanashi Pref.”

Meo SAITO / 齋藤芽生



左) 暗号韻 “Pronunciation of cryptograph” 2016年 45×45cm アクリル、紙
 右) 稀種眼科院 “Ophthalmology Clinic for rare animals” 2017年 32×32cm アクリル、紙

Naoko TOMIOKA / 富岡直子



左) 「春待ちのよあけ d-180210」 “Dawn-longing for spring” 2018年 20.3×28.2cm 水彩、パステル
 右) 「春待ちの朝 d-180214」 “Morning-longing for spring” 2018年 21.5×27.9cm 水彩、パステル

<プレスの皆様へ>

画像の用意がごございますので、展覧会情報をご紹介いただける際は下記までご連絡ください
 ＊出品作品はリリースと異なる場合がございます。詳細はお問い合わせ願います。

 ギャラリー・アートアンリミテッド / 担当：高砂・瀬野

〒107-0062 港区南青山 1-26-4 六本木ダイヤビル 3F tel:03-6805-5280 <http://www.artunlimited.co.jp>
info@artunlimited.co.jp

略歴

マイケル・ケンナ Michael KENNA

1953年、イギリスで生まれ。ロンドン芸術学校で写真を学ぶ。1977年、サンフランシスコに渡り、以来アメリカ在住。写真家として活動を続けている。正方形に長時間露光により時と空間の推移を封じ込め、静謐で叙情溢れる風景写真家として人気を博し、世界の数多くの美術館に収蔵されている。数々の高質な写真集の出版でも知られる。美しい自然のみならず、イギリスの原発、廃れゆく工場地帯、ナチスドイツの強制収容所の連作など、社会的なテーマにも取り組んでいる。2000年にはフランス政府より、芸術文化勲章シュバリエを受章。精力的に世界各地を旅する写真家だが、特に日本の風景を愛し、毎年のように訪れて撮影。北海道を撮影した写真も多く、その功績により2016年第32回東川賞特別作家賞を受賞。2018年12月東京都写真美術館で日本初の回顧展「45Year Odyssey 1973 - 2018」を開催予定。

柴田敏雄 Toshio SHIBATA

1949年 東京生まれ、東京芸術大学美術学部大学院修了。1975年 ベルギー文部省より奨学金を受け、アントワープ市、王立アカデミー写真学科入学。ダムなど人工物と自然のせめぎあう風景を絵画的な視覚で大胆に切り取る写真で注目され、1992年第17回「木村伊兵衛写真賞」を受賞。2009年第25回東川写真賞国内作家賞、日本写真協作家賞受賞。東京国立近代美術館、東京都写真美術館、ニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館など内外の多くの美術館に作品が収蔵されている。大型カメラによるモノクローム写真で40x50インチなど大きなスケールで知られるが、2004年頃からカラー写真に転じた。主な展覧会に2008-9年 柴田敏雄「ランドスケープ」展 東京都写真美術館(東京)。2012年「与えられた形象 - 辰野登恵子 / 柴田 敏雄」展、国立新美術館(東京) 2013-14年 PEABODY ESSEX MUSEUM(USA)で個展。2017年ニューヨーク、パリ、サンタモニカで個展。2018年ロンドン、ニューヨークで個展など精力的に制作、内外で発表を続けている。

齋藤芽生 Meo SAITO

1973年東京生まれ。2001年東京芸術大学大学院博士後期課程油画専攻修了。美術家。現在。東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻准教授。失われゆく風景や文学性、情感の世界を緻密な絵画と巧みな文章で描く。2009年「アーティスト・ファイル2009」(国立新美術館)に出品、2010年「VOCA展2010 現代美術の展望-新しい平面の作家たち」(上野の森美術館)で佳作賞/大原美術館賞受賞。主な個展に2008年「徒花園」、2011年「密愛村~暗夜婚路」、2012年「野火賊、夜光族」、2014年「香星群アルデヒド」、2016年「密愛村IV」ギャラリー・アートアンリミテッド(東京)など。2016年、大原美術館有隣荘で個展「密愛村」を開催。2018年個展「暗虹街道」を開催。主な著書『徒花図鑑』、『四畳半みくじ』(芸術新聞社)、『カステラ、カステラ』(福音館書店)ほか。

富岡直子 Naoko TOMIOKA

1966年神奈川県生まれ。1990年多摩美術大学絵画科油画専攻卒業。1992年、第6回ホルベイン・スカラシップ、1996年「VOCA展1996」VOCA奨励賞受賞。2006年文化庁新進芸術家海外研修員としてニューヨーク、ISCPに参加。一貫して「光」を追究し、「光」が観るものを包み込むような絵画を制作している。近年は風景をモチーフに「朝の光」を描いている。主な個展 1996年資生堂ギャラリー、2005年第一生命南ギャラリー、2017年ギャラリー・アートアンリミテッド他多数。主なグループ展 1996年多摩美術大学「TAMA VIVANT'96」展 2003年POLA Museum Annex「光をとらえた女性たち」展、2007年「Places」LUXE Gallery ニューヨーク、「Earth Wind Fire」2x13 Gallery ニューヨーク、2015年損保ジャパン日本興亜美術館「クインテットII-五つ星の作家たち」展、森鷗外記念館「森鷗外記念館で現代アート! Vol.3」展、国立新美術館「18th DOMANI・明日展」、ほか国内外のグループ展に多数参加。